

展示ホール電気設備ご利用時のご案内

主催者名							
担当者氏名				電話番号			
利用日時	年	月	日	時から	月	日	時まで

ホールには、主催者様が持ち込む電気機器をご利用頂く為のコンセント及び仮設電源盤が設置されています。

このシートは、電気機器を安全にご利用頂けるよう資料としてご利用下さい。

※ 当施設は、電気設備容量が500Kwを超える大規模施設です。
施設の電気設備容量が電気工事士免許範囲を超える為、仮設電源盤からの配線工事は、管理事務所への申請許可、立会が必要です。

※ 該当する項目にチェックを入れて下さい。 例：☒

☐ ホール利用に際し、コンセントと仮設電源を利用しません。

※ 以下項目に該当ありません。

☐ ホールに設置のコンセントを利用して、電気機器を利用します。

説明:

ホールには、19か所の100V20A容量の単独回路コンセントを設置しています。

1回路当たり、15A(1500W)以内で、ご利用下さい。

尚、延長コードご利用時は12A(1200W)以内で、ご利用下さい。

※コンセントからの電気利用は、無料となっています。

※延長コードは主催者様側にて良品をご用意頂き、過負荷や短絡事故が起きない様、ご注意下さい。

※念の為、通電前に、防災センター設備員が確認致します。管理事務所までご連絡下さい。

☐ ホールの仮設電源設備を利用して、電気機器を利用します。

説明:

ホールには、分電盤内に仮設電源接続用の端子台が設備されています。

※ご利用は主催者様より電気工事業者に相談、ご依頼下さい。

※ご利用の場合、裏面の「仮設電源使用届出書」の事前提出をお願いします。

利用日前日までに提出がない時は、利用いただけない場合がございます。

※仮設電源からの電気利用は、有料となります。

※仮設電源は、単相3線式 3P150A 容量ブレーカーを設置しています。

※仮設配線側に漏電ブレーカーを入れて電源総容量は20kwまででご利用下さい。

※電気工事業者によるメガ測定を実施して頂き、管理事務所までご連絡下さい。

防災センター設備員が立会い確認致します。確認後に通電可能となります。

補足:

ホールのコンセントと仮設電源の両方ご使用の場合

コンセントと仮設電源の最大合計容量は、必ず45kwまででご利用下さい。

※ホールの照明、コンセント、仮設電源は同幹線の構造となっています。

ホール内の主幹ブレーカーは、3P300A(最大60kw)ですが、ホール内照明を全点灯すると15kw消費します。よって、ご利用頂けるコンセントと仮設電源の合計は最大45kwまでとなります。

※ ご不明な点は管理事務所までお問い合わせください。ご利用、お待ちしております。
尚、電気設備担当者より連絡させていただく場合がございます。

和歌山ビッグ愛展示ホール 仮設電源使用届出書

令和 年 月 日

和歌山ビッグ愛 電気主任技術者 殿

届出者名

次のとおり届け出ます。

主催者名			担当者氏名			電話番号		
施工業者	施工業者名				現場責任者			
	住 所				電 話 番 号			
工事着工日時	月 日 時～ 時		撤去作業日時	月 日 時～ 時				

1. 使用容量明細

持込仮設機器	単容量	使用台数	使用容量	使用日	稼働時間（30分単位）		
	k w	台	k w	月 日	時 分～ 時 分	h	
	k w	台	k w	月 日	時 分～ 時 分	h	
	k w	台	k w	月 日	時 分～ 時 分	h	
	k w	台	k w	月 日	時 分～ 時 分	h	
	k w	台	k w	月 日	時 分～ 時 分	h	
	k w	台	k w				
	k w	台	k w				
	k w	台	k w				
① 合計容量			k w	② 合計稼働時間			h
				①×② 合計使用容量・・・③ (小数点以下切り捨て)			k w h

2. 使用容量明細（24時間稼働分）

持込仮設機器	単容量	使用台数	使用容量	使用日	稼働時間（30分単位）		
	k w	台	k w	月 日	時 分～0時	h	
	k w	台	k w	月 日～ 日	24 h × 日間	h	
	k w	台	k w	月 日	0時～ 時 分	h	
	k w	台	k w				
	k w	台	k w				
	k w	台	k w				
④ 合計容量			k w	⑤ 合計稼働時間			h
				④×⑤ 合計使用容量・・・⑥ (小数点以下切り捨て)			k w h

3. 使用料明細

⑦ 単価	3 5 円／k w h	※ ⑦×⑧ 使用料
③+⑥ 使用容量総計・・・⑧	k w h	円

- 注 1 必要事項をご記入のうえ、必ず事前に提出して下さい。
- 2 ※印欄には、記入しないで下さい。
- 3 持込仮設機器については、仮設専用の150Aブレーカーを利用して下さい。
(原則として盤内からの取り出しは安全のため許可していません。)
- 4 仮設ブレーカーからの利用機器のみを記入して下さい。
- 5 持込仮設機器の総容量は20kwまでにして下さい。
- 6 配線及び接続工事については、電気工事士の資格者に限ります。
- 7 配線終了後、絶縁測定をして下さい。
- 8 配線は側面の取り出し口から出して下さい
- ※ 仮設工事前、工事終了後に必ず防災センターまでご連絡下さい。